

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

- ①ジョン・ガズマ他著『女神的リーダーシップ』プレジデント社(390頁,四六判)
「リーダーシップ・シフトが起きている!」。先進国と新興国合わせて世界13カ国、6万4000人を対象にした調査から、世界で成功しているリーダーシップの特徴は、率直さ、人間的つながりを大切にすること、長期的視点などのアテナのような「女神的」と言われる資質であることがわかった。「男性がもっと女性的な発想をしたら、世界は好ましい方向に変わる?」との問いには世界平均の男性の63%、日本人男性の79%が賛成と回答。「共感力」「忍耐」「柔軟性」などの女性的な資質はまた、イノベーションや組織マネジメント、キャリア・マネジメントにも大きな効果を及ぼすという。女神的リーダーシップは事業の成功と人々の幸福を同時に追求する。
- ②橋本健二著『「格差」の戦後史(増補新版)』河出書房(294頁,B6判)
本書は、格差問題を日本の戦後史の中でとらえ、SSM調査データや国勢調査、就業構造基本調査などを用いて分析。著者によれば、第二次世界大戦をはさんで縮小した日本人の経済格差は、1950年代の経済復興とともに広がりはじめ、60年代の高度経済成長の進展により縮小。70年代はいわゆる一億総中流時代が到来したが、80年代から再度格差拡大を迎え、2000年代には非正規労働者が増大。著者は、格差の基礎には階級構造があると強調。職業や経済的資源の所有いかんによって、資本家階級、新中間階級、労働者階級、旧中間階級に分類し、格差の実態を追究。格差論議に一石を投じた2009年10月版に、地域間格差、若者、主婦の分析を加えた増補版。
- ③八代尚宏著『社会保障を立て直す』日本経済新聞出版社(230頁,新書判)
著者は、現行の社会保障制度が本来の税や社会保険料だけでなく、国債発行にも大きく支えられている点を問題視。国の借金に全面的に依存している体質に懸念を示し、しかも改善する展望がまったくないと指摘する。この仕組みを大改革しなければ、社会保障だけでなく、財政の破綻リスクも免れないと警告。本書は、政府が設置した「社会保障制度改革国民会議」の報告書を批判的に検討し、①現行制度の問題点の明確化②先送りされている改革案の深掘り③「社会保障と税の一体改革」で抜けている論点の明確化、を主な目的としている。各論では、年金や医療、介護、女性の社会保障、生活保護等の現行制度の問題点を追究し、抜本的な立て直し策を提示。
- ④石渡嶺司著『就活のコノヤロー』光文社(270頁,新書判)
前著『就活のバカヤロー』から6年が経ち、その後の就活事情の継続取材により、その最前線をフォローする。ブラック企業を恐れる学生、イケてない学生に頭を抱える企業、就職率の数字に一喜一憂する大学関係者、ニートやフリーターにだけはなってくれるなど願う親。本書は「就活とは、この“四者四様”の思惑が空回りする一大イベント」とし、関係者の本音を紹介する。就活の後ろ倒しの理由の一つである「学業への阻害論」については大正時代からあった話だと述べ、女子学生は入社しても「ロールモデルの不在」などにより伸び悩むという。現状の問題点を指摘するとともに、これからの就活、キャリア支援、採用活動、就職ビジネスの動向も示している。

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2014年1—2月労働図書館受け入れ)

- ⑤柳川範之著『40歳からの会社に頼らない働き方』筑摩書房(189頁,新書判)
⑥阿達雅志著『世界パラダイム・シフト』星雲社(ix+210頁, A5判)
⑦桜井智恵子他編『揺らぐ主体/問われる社会』インパクト出版会(213+iii頁,四六判)
⑧宇沢弘文著『経済学は人びとを幸福にできるか』東洋経済新報社(xxi+273頁,四六判)
⑨山田順著『脱ニッポン富国論』文藝春秋(253頁,新書判)
⑩柴田明著『ドイツ・システム論的経営経済学の研究』中央経済社(v+iv+235頁, A5判)
⑪城繁幸監修『働くってなに?ブラック企業大論争』宝島社(127頁, AB判)
⑫今野晴貴著『ブラック企業ビジネス』朝日新聞出版(230頁,新書判)
⑬岸田眞代編著『企業が伸びる地域が活きる』サンライズ出版(141頁, A5判)
⑭矢代隆嗣著『NPOと行政の協働活動における「成果要因」』公人の友社(vii+214頁, A5判)
⑮西谷敏他編著『雇用終了と労働基本権』旬報社(ix+251頁, A5判)
⑯中川昭一著『特例子会社における障害者雇用』学苑社(265頁,四六判)
⑰日本経済新聞出版社編『給料がヤバイ!』日本経済新聞出版社(173頁,新書判)
⑱東海林智著『15歳からの労働組合入門』毎日新聞社(222頁, A5判)
⑲森健一著『戦後アメリカの対日労働政策と地域共闘組織の対抗』熊本出版文化会館(390+6頁, A5判)
⑳金鎮淑著『塩花の木』耕文社(341頁,四六判)
㉑神代雅晴編著『高齢労働者のための職場づくり』中央労働災害防止協会(xi+210頁, AB判)
㉒大越愛子編『ジェンダーとセクシュアリティ』昭和田堂(viii+234+vi頁, A5判)
㉓青木秀男著『マニラの都市底辺層』大学教育出版(iii+207頁, A5判)
㉔風樹茂著『東京ドヤ街盛衰記』中央公論新社(254頁,新書判)
㉕日本社会教育学会編『労働の場のエンパワメント』東洋館出版社(248頁, A判)
㉖和田一夫著『ものづくりを超えて』名古屋大学出版会(vi+514+20頁, A5判)
㉗小川純生著『遊び概念と消費者行動』同友館(iv+298頁, A5判)
㉘堺屋太一著『団塊の秋』祥伝社(323頁, A5判)
㉙石田衣良著『きみはダイジョブ?』日本経済新聞出版社(217頁,新書判)
㉚丸岡いずみ著『仕事休んでうつ地獄に行ってきた』主婦と生活社(223頁,四六判)

労働図書館(資料センター)

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書115,000冊、洋書30,000冊、和洋の製本雑誌25,000冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(285種)、洋雑誌(120種)、紀要(510種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、日本経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 東京都練馬区上石神井 4-8-23

開館時間: 9:30 ~ 17:00

休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他

電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659

労働図書館 HP: <http://www.jil.go.jp/lib/index.htm>

利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください

レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

